

プレアボイドフォーラム東京2024

プレアボイドフォーラム東京2024が開催されました。
今年のプレアボイドフォーラム東京2024も、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、
2021年より行っているWEB形式での開催となりました。

今年は「若手薬剤師にも知ってほしい救急・救命領域のプレアボイド」というテーマで、日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 小玉 健太郎 先生に「救急領域における薬学的管理」について、東京医科大学病院 薬剤部 武居 宏樹 先生に「救急集中領域での薬剤師が貢献する医療品安全使用」についてご講演頂くと共に、東京都内の会員のご施設より、2施設の先生をお招きして各施設におけるプレアボイドに関連した活動についてご講演頂きました。

【開催概要】

日時：2024年3月16日（土）10：00～13：00

場所：Zoom を用いた Web 開催

共催：一般社団法人東京都病院薬剤師会、第一三共株式会社

【プログラム】

東京都病院薬剤師会

プレアボイドフォーラム東京2024

若手薬剤師にも知ってほしい救急・救命領域のプレアボイド

●日時：令和6年3月16日（土）10:00～13:00

●参加費：会員（東京都病院薬剤師会・東京都薬剤師会）…… 1,000円
非会員 …………… 2,000円
※シール郵送料込み
※受講の受付・参加費の支払いはWEB決済システム「イベントベイ」を使用します。

●プログラム

1. 製品説明（第一三共株式会社）
2. 10：00～10：05 開会挨拶 一般社団法人東京都病院薬剤師会 会長 後藤 一美
3. 10：05～10：25 基調講演
『当院のプレアボイド報告の現状』
慶應義塾大学病院 薬剤部 村松 博 先生
一般社団法人東京都病院薬剤師会 医薬情報部プレアボイド推進小委員会委員長
4. 10：25～11：10 特別講演1
『救急領域における薬学的管理』
日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 小玉 健太郎 先生
5. 11：20～12：05 特別講演2
『救急集中治療領域での薬剤師が貢献する医薬品安全使用』
東京医科大学病院 薬剤部 武居 宏樹 先生
6. 12：05～12：55 施設報告
演者：東邦大学医療センター大森病院 薬剤部 鈴木 美香奈 先生
演者：板橋中央総合病院 薬剤部 荒木 淳一 先生
7. 12：55～13：00 閉会挨拶
一般社団法人東京都病院薬剤師会 医薬情報部プレアボイド推進小委員会委員長 村松 博

1/1



■開会挨拶

一般社団法人東京都病院薬剤師会 会長 後藤 一美 先生



はじめに、一般社団法人東京都病院薬剤師会 会長 後藤 一美 先生より、チーム医療の中で薬剤師の果たす役割が診療報酬にもつながっていくこととなりますがプレアボイド報告はその証拠であるとともに、病棟、病院、病薬レベルにおいてさまざまな活用も考えられます。

プレアボイド報告件数は全国的にも大きな広がりを見せておりますが、さらに、多くの病院薬剤師が活躍されている証拠を残していくためにも、また、これからますます医療現場で活躍していくためのきっかけとして、本日のプレアボイドフォーラムが有意義な時間となることを祈念してしすとして、開会のご挨拶をいただきました。

■基調講演 「当院のプレアボイド報告の現状」

慶應義塾大学病院 薬剤部 村松 博 先生

東京都病院薬剤師会医薬情報部プレアボイド推進小委員会委員長



本講演では、東京都病院薬剤師会医薬情報部プレアボイド推進小委員会委員長より、「ヒヤリ・ハット報告」と「プレアボイド報告」の違い、プレアボイド報告の様式および報告手順に関する解説・紹介をいただきました。

また、平成 12 年からのプレアボイド報告件数の推移に関し、平成 28 年までは右肩上がり、その後全体の報告件数は横ばいとなっているものの、従来からあった様式 1

及び 2 の件数は減少傾向にある一方で 2016 年 4 月より新たに追加された様式 3 の件数は増加傾向にあるといった状況に加え、所属施設におけるプレアボイド報告の現状について報告いただきました。

■特別講演 1

「救急領域における薬学的管理」

日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 小玉 健太郎 先生

座長：日本医科大学多摩永山病院 田杭 直哉 先生

プレアボイドフォーラム東京 2024
若手薬剤師にも知ってほしい救急・救命領域のプレアボイド

救急領域における薬学的管理

日本大学医学部附属板橋病院
薬剤部
小玉 健太郎

2024年3月16日 10:25 ~ 11:10



特別講演 1 では日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 小玉 健太郎 先生より、救急救命センターに常駐する薬剤師の業務を 1 日の流れや救急搬送の際の薬剤師の役割等を紹介いただきました。

また、救急領域におけるプレアボイドの内容や件数について、具体例を交えてお話しいたきました。

■特別講演 2

「救急集中治療領域での薬剤師が貢献する医薬品安全使用」

東京医科大学病院 薬剤部 武居 宏樹 先生

座長：東京都済生会中央病院 吉原 正和 先生

2024年3月16日 (土)
プレアボイドフォーラム東京2024
若手薬剤師にも知ってほしい救急・救命領域のプレアボイド

救急集中治療領域での薬剤師が貢献する医薬品安全使用

東京医科大学病院 薬剤部
武居宏樹



特別講演2では東京医科大学病院 薬剤部 武居 宏樹 先生より集中治療室においての薬剤師の介入についてお話しいただきました。救急集中治療領域特有の酸素療法やその際に用いる薬剤、持続的腎代替療法等についてわかりやすくご講演頂きました。

まとめとして「当たり前のことを馬鹿にしないでちゃんとやる」とのお話をいただき、日々の積み重ねが重要であると改めて感じました。

■施設報告

座長：明理会中央総合病院 遠藤 祐里佳 先生

1. 東邦大学医療センター大森病院 薬剤部 鈴木 美香奈 先生

当院におけるICU業務

東邦大学医療センター大森病院
薬剤部 鈴木美香奈



最初の施設報告は、東邦大学医療センター大森病院 薬剤部 鈴木 美香奈 先生よりICUにおける業務の流れについてご紹介いただきました。

毎朝8時半からの walking conference や週1回の栄養ラウンドに参加し、多職種との連携や情報提供を行っており、その中で薬剤師として薬学的観点から治療に取り組んでいるといった報告をいただきました。

また、中毒分析についてもお話いただき、実際の具体例においての薬剤師の介入についてもお話いただきました。

2. 板橋中央総合病院 薬剤部 荒木 淳一 先生

フレアボイドフォーラム東京 2024

『施設報告』 救急・集中治療域における当院の取り組み

2024.03.16
板橋中央総合病院 薬剤部
荒木 淳一



続いての施設報告は、板橋総合病院 薬剤部 荒木 淳一 先生より、救急・集中地領域における取り組みとして所属施設での事例を交えてご紹介いただきました。

アミオダロンにおいては配合変化や適応の違いについてお話いただき、希釈液に注意が必要であり使用法が複雑なため、救急カートに配置の際はあらかじめ希釈液とセットにして配置し、使用法についても記載して間違いなく迅速に使用できるようにしているとお話をいただきました。

■閉会挨拶

東京都病院薬剤師会医薬情報部プレアボイド推進小委員会委員長 村松 博 先生

プレアボイドフォーラム東京 2024 にご参加いただきありがとうございました。

今回のプレアボイドフォーラムでは、救急・救命領域で業務を行っている先生方にプレアボイドを絡めてご講演をいただきました。

また、2つの施設の先生方からは各施設におけるプレアボイド事例のご報告をいただきました。これらのご報告を聞くことにより、ご参加いただいた各御施設の参考になったのではないかと思います。冒頭でお伝えしました通り、プレアボイド報告件数というのは伸び悩んでいる感じは致しますが、薬剤師業務は大変増えたこともあり、質の高い、患者に利益のあるプレアボイド報告に内容が変化しているのではないかと感じております。

今後も薬剤師の職能を発揮し、アピールするためにプレアボイド報告推進にしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

皆様、今後ともご協力のほどよろしく願いいたします。

以上、プレアボイド推進小委員会委員長 村松 博 先生からのご挨拶をもって閉会いたしました。



プレアボイドフォーラム東京 2024
演者の皆様とプレアボイド推進小委員会委員

(記 南町田病院 本堂 青華)